

令和2年度双葉会診療所事業報告・決算報告(抜粋)

総括

今年度も引き続き経営の安定化「経営コストの見直し」「診療所の環境改善」に努め、コロナ感染予防対策を日々検討して、社会情勢に合わせスピード感を持って職員一同対応に当たった。令和元年度より感染予防対策として行っているスリッパへの履き替え廃止などが、このコロナ対策としても有効的であった。また、消毒に関しても、診療所内で次亜塩素酸水の生成を行い、消毒液の不足が起こることのない安心・安全な対応に努めた。

職員は継続的な感染予防と自己管理という緊張の中、長期に渡り感染予防に努め、地域における双葉会診療所としての医療提供を死守する事に努めた。

経営状態は、常勤医師1名、非常勤医師3名(月計4名)となっているが常勤医師は、多くの委託業務を抱えており、医師の確保は引き続き必要と考えられる。

入院においては、コロナ感染予防などの影響で、稼働率は下がっているものの、入居者の重症化により収入は増っており、医師の尽力と職員の工夫で診療所の経営を支えている。

外来診療においては、患者数の変動は少ないが、前年比で一人単価の変動が見られた。

詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和3年3月31日
資産・負債の内訳		双葉会診療所
資産の部		***
1. 流動資産		***
流動資産合計		50,238,338
2. 固定資産		***
固定資産合計		12,464,790
資産合計		62,703,128
負債の部		***
1. 流動負債		***
流動負債合計		16,376,327
2. 固定負債		***
固定負債合計		4,684,720
負債合計		21,061,047
差引純資産		41,642,081

拠点区分貸借対照表			令和3年3月31日	
			双葉会診療所会計	
			借方	貸方
流動資産		50,238,338		
固定資産		12,464,790		
資産の部合計		62,703,128		
流動負債			16,376,327	
固定負債			4,684,720	
負債の部合計			21,061,047	
基本金				0
国庫補助金等特別積立金				584,501
その他の積立金等				0
次期繰越活動収支差額				41,057,580
純財産の部				41,642,081
負債・純財産の部合計				62,703,128

拠点区分資金収支計算書			令和3年3月31日
(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日			双葉会診療所会計
勘定科目			双葉会診療所会計
決算の状況	事業活動	事業活動収入計	125,311,702
		事業活動支出計	79,233,353
		事業活動資金収支差額 (-)	46,078,349
	施設整備	施設整備等収入計	0
		施設整備等支出計	2,935,575
		施設整備等資金収支差額 (-)	-2,935,575
	その他の活動	その他の活動収入計	0
		その他の活動支出計	41,200,000
		その他の活動資金収支差額 (-)	-41,200,000
		予備費 ()	0
当期資金収支差額合計 = + + -			1,942,774
前期末支払資金残高			32,779,877
当期末支払資金残高 (+)			34,722,651

会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。